

# 平成30年度シラバス

化学園長野保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
健康指導法				講義		渡邊 伸	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1	2	30	15	前期	卒業:必修	幼免:必修	保育士:必修
<p>[授業の目的・ねらい]                      幼児の健全な生活を考え、自身の身体的経験を踏まえて幼児期の健康問題を学ぶ。</p>							
<p>[授業全体の内容と概要]                      幼児は小さな大人ではないことを根本から理解するため、自身の身体的経験を振り返る。現在の幼児の置かれている環境からその健全な生活を考える。</p>							
<p>[受講上の注意事項]                      自分の身体に何等かの関心を持っていることが望ましい。</p>							
<p>[使用テキスト]                      適宜プリントを配布します。</p>				<p>[評価基準]                      他人の身体状態を感じ取る能力</p>			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目			授業内容			
1	ガイダンス			授業の全体構想の説明			
2	身体記憶			自身の身体に残る幼児期の記憶を訪ねる			
3	身体は感覚でできている			身体の感覚は変化することを理解する			
4	自分は気分			気分、雰囲気、全身感覚について学ぶ			
5	人は気分を生きている			機嫌が悪い、気分が悪いは行動に表現される			
6	気分は感染する			楽しい人と一緒にいると暗かった自分も明るくなる経験をたどる			
7	幼児の家庭環境を雰囲気から考える			子供の頃の楽しかった思い出を語り合い、聴き合う			
8	集団が作る雰囲気に気がつく			親しめる雰囲気は体調を整える			
9	良い雰囲気を作る			何がきっかけになって雰囲気が良くなるか、考える。			
10	自身の充実感を意識する			自分が一番熱中できることは何か、どんな瞬間か考える			
11	夢中の活動			必死、夢中、集中は具合の悪さを忘れさせる			
12	子供の身体に出会う			教育実習での経験を話し合う			
13	身体感覚の根源を学ぶ			乳児と母の言語以前のコミュニケーションを学ぶ			
14	感覚と共同体			野生児の記録を学ぶ			
15	まとめ			乳児期の感覚環境の大切さを学ぶ			